

練習再開に対する意見書

日本拳法部 コロナ対策

クラブ再会と練習参加に対する保護者からの承認

- ・書面においてコロナを取り巻く学校・競技加盟団体の現況を伝え、クラブ再開を告知。練習内容と今後の予定も全て明確に伝える。その上で練習参加は家庭・生徒の判断に全て委ねることを伝え、承諾書をとる。

今後の競技再開を鑑みた上での、今後のクラブ活動展望

1. 競技再開に対する現況

現在、連盟からの通達で、9月までの大会が全て中止となっている。その後の予定は未定であるが、3年生が引退の区切りとなるよう大阪高体連日本拳法専門部では年内に個人戦を自由参加で募りたいとのこと（社会情勢によっては開催しない）。また、1・2年生に対しては、11月に来年3月開催予定の全国選抜大会の予選を実施する予定である（社会情勢に応じて開催の可否を判断）。昇段審査に関してはこの4月・6月の二回、審査会が中止となった。この情勢に対して連盟は3年生に対する初段允許をレポート試験で救済することとなった。また、1・2年生の3・2・1級允許も同様である。

2. クラブ活動展望

昇段審査への対応

段級の取得（特に初段）は社会的に認知された資格である（併設大学内部推薦における学費減免の対象、警察・自衛隊受験の際にも優遇される）。また、生徒たちも段級の取得は競技に打ち込んだ努力の証であり、モチベーション維持のためにも重要である。そのため、前述の通り、レポート試験での允許が特例として、6月21日までにレポート提出をし、認可された者に段級が允許されるので、6月初旬に2回の、三密を避けた教室でのレポート対策講義を行いたい。

試合への対応

直近で試合が実施されないため、防具稽古（組手）の練習を早急には実施することはしない。大会は早くも11月からの再開であるので、7月末までは体力トレーニングを中心としたものと、教室におけるミーティングのみとする。その後は社会情勢により、8月以降に、組手に近い練習であるミット打ちを追加、9月以降は組手を練習に追加する意向である（組手試合に備えるには短くて1ヶ月、通常であれば2ヶ月の準備期間が生徒たちの安全確保のために必要）。

3. 6月～7月の練習環境整備と練習内容

練習環境整備

教室でのミーティング

ミーティングは新校舎教室を使用。窓・扉は開放し、換気を徹底する。また、密を避ける座席配置とする。終了後は使用した机やホワイトボードをアルコール消毒する。

道場でのトレーニング

①換気

柔剣道場の窓・扉は全開にする。

②熱中症対策

大型扇風機を5台稼働させる。休憩は30分に一回入れ、給水する。

③三密対策

部員のグループ分け

部員をA・B・Cの3グループに分け、2グループずつの練習日程を組む。これで一度の練習での参加最大人数を10人前後で抑えられ、生徒の1週間でのクラブ参加日数が4日となり休息日も確保できる。

練習場所の限定

道場で個人がトレーニングに使用できるエリアをテープ等で示す。密に配慮しその間隔は前後左右2mずつ離して設定する。

集合する際の対策

顧問が指示を出す際は生徒たちが呼吸を回復した状況で、マスクを着用させて密にならないよう1mの間隔をあけて集合させる。

消毒

部費から消毒剤を購入し、練習後は毎回アルコール消毒を実施する。

④生徒の体調把握

必ず毎朝の検温結果を練習前に学院手帳で確認する。検温結果が大丈夫でも、練習前、練習中の様子を見て、少しでも異常があれば帰宅させ、必要に応じて通院を家庭に強く促す。

練習内容

練習日程

①6月15日

→昇段審査レポート試験に対する講義を実施。

初段・2年生の1級保有者は不参加。

②6月15日～21日

→3年生は期末考査を優先して不参加

1・2年生のみでグループ分けの上、柔剣道場で実施

③6月23日～期末考査終了まで

→OFF

④7月中

→1～3年生を3グループに分割し、2グループずつ招集する。

練習内容

①密を避けられない練習（組手・ミット打ち）

→密を避けるため、また試合が予定されている11月まで余裕があるため実施しない。

②サンドバック打ち

→密を避けて行えるため実施。使用後は消毒する。

③形稽古・想乱（シャドーボクシング）

→密を避けて行えるため実施。2m前後左右の間隔をあげ、大声を出さずに行う。

④筋力トレーニング・ストレッチ

→密を避けて行えるため実施。ミーティングで生徒らにプレゼンを実施させ、トレーニング方法を生徒主体で策定し、それにのっとり2m前後左右の間隔をあげ実施。

⑤休憩・給水

→給水は必要に応じて実施。生徒には水筒を各自で持参させる。休憩は熱中症対策も考慮し、30分に一度は必ず5分の休憩をとる。

⑥練習時間

→休憩時間を含め、2時間で必ず終了する。

2020年 月 日

大阪学院大学高等学校 日本拳法部
顧問 芳川茂雅・伊藤春希

日本拳法部 練習参加承諾書

6月15日以降の日本拳法部の練習に 参加 します。

()年 ()組 ()番 名前 ()

保護者お名前 ()印

1. 体調が悪い時は、無理をせずに必ず欠席してください。
(欠席する場合は必ずご連絡ください)
2. 参加は強制ではありません。
3. 参加承諾書の提出がない場合や、押印がない場合は参加できません。